

ホール機能のあり方庁内検討委員会
検討結果報告書

令和8年(2026年)2月
ホール機能のあり方庁内検討委員会

1 ホール機能のあり方庁内検討委員会について

中央公民館のあり方については、令和5年度に庁内関係課で組織する「中央公民館の在り方検討部会」において検討が重ねられ、令和6年2月7日開催の平塚市公共施設再編推進委員会にて「収容200～400人程度のホールを備えた施設の新築（規模縮小）とすることが望ましい。」と報告された。

また、令和7年3月定例会にて、「市民活動の成果の発表の場としてのホール機能は必要」、「令和7年度の早い段階で庁内関係課による組織を立ち上げ、ホール機能の維持や会議室なども含めた中央公民館のあり方について、様々な視点から検討を進めていく」との答弁がされており、上記の内容を踏まえ、まずはホール機能について適切な機能や規模を検討することを目的に、「ホール機能のあり方庁内検討委員会」を令和7年4月22日に立ち上げた。

※庁内検討委員会構成員：企画政策課長（委員長）、資産経営課長（副委員長）、文化・交流課長、都市整備課駅周辺地区整備担当課長、社会教育課長、中央公民館長

2 検討経過

第1回	令和7年5月19日	庁内検討委員会の目的・スケジュールの共有 中央公民館大ホールの利用状況、説明会での意見の共有 など
第2回	令和7年6月5日	市内公共・民間ホールの一覧 県内市町村及び人口密度が同規模な自治体との比較 など
視察	令和7年7月9日	八王子市経営改革課との意見交換 複合施設、生涯学習センター、コンベンションホールなどの見学
第3回	令和7年7月18日	各ホールの稼働状況、公共施設、民間施設の市内配置状況 八王子市視察に関する報告 など
第4回	令和7年8月26日	検討結果の方向性について 中央公民館休館に関する個別相談等の状況の共有 など
第5回	令和7年10月2日	検討結果報告書たたき台について 中央公民館休館に関する個別相談等の状況の共有 など
第6回	令和7年10月24日	検討結果報告書案について 中央公民館休館に関する個別相談等の状況の共有 など

3 市内ホールの現状

(1) 中央公民館大ホール

ア 概要

建設年度：昭和 57 年度

面積：479.08 m²

収容人数：701 人

利用区分：午前、午後、夜間（3 区分）

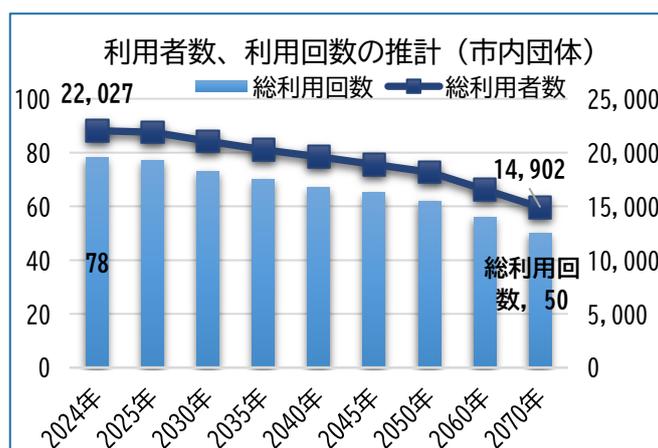
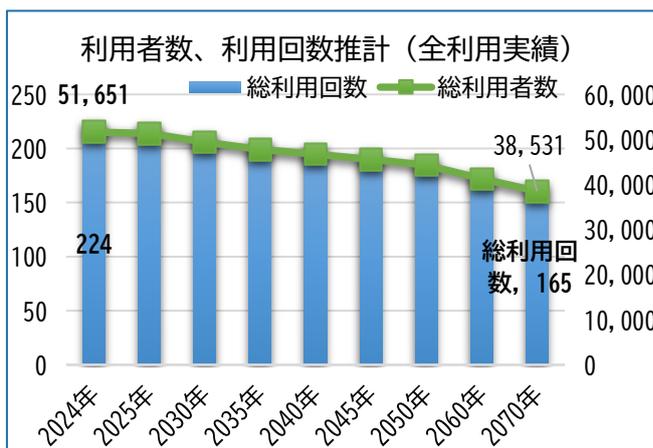
使用料：平日 41,000 円 土日祝 49,500 円（全日の場合）

令和 8 年 10 月から休館。令和 7 年 3 月 26 日に団体向け説明会を開催。

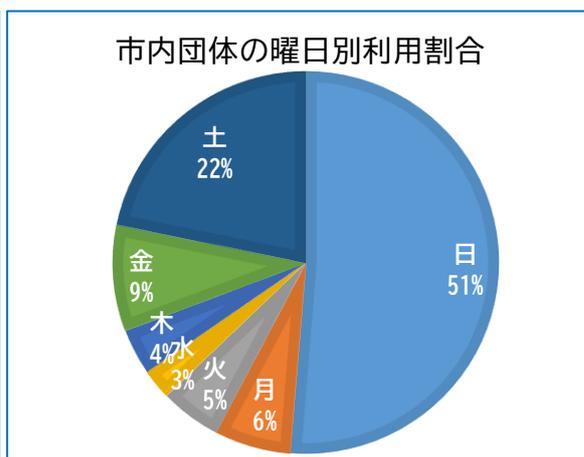
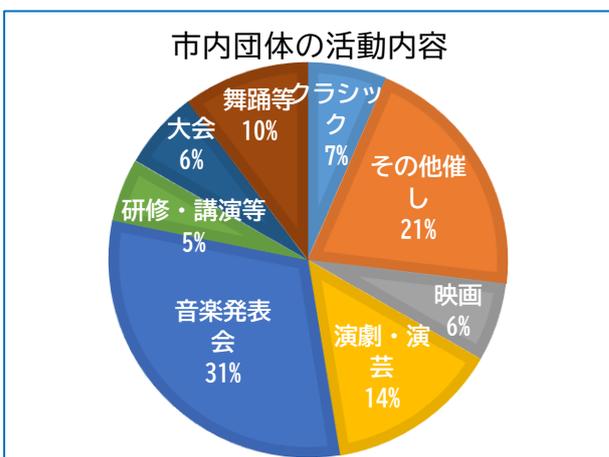


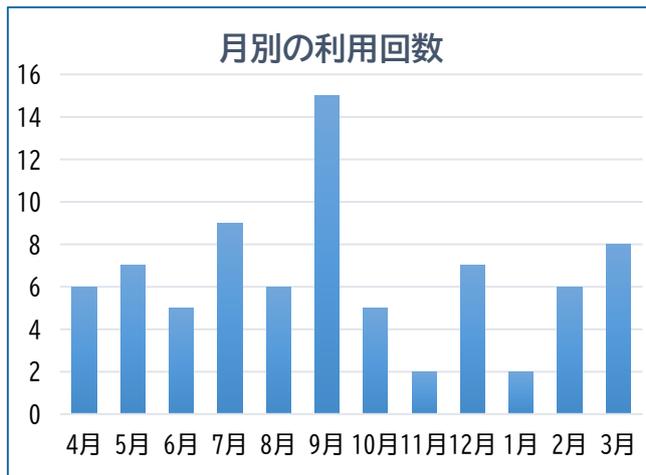
イ 利用状況

令和 6 年度の中央公民館大ホールの利用状況は計 224 回であり、うち、市内団体（市外団体、市・学校の主催を除く）の利用は 78 回（35%）となっている。今後の人口減少に応じて推計すると、年間 165 回、うち市内団体の利用は 50 回程度（30%）と見込まれる。



市内団体に限った 78 回の利用状況を見ると、音楽発表会での用途が多く、約半数が日曜日、9 月の利用が多い状況にある。また、他の公共施設では代替が難しい 300 人以上での利用は年間 30 回程度（約 40%）となっている。

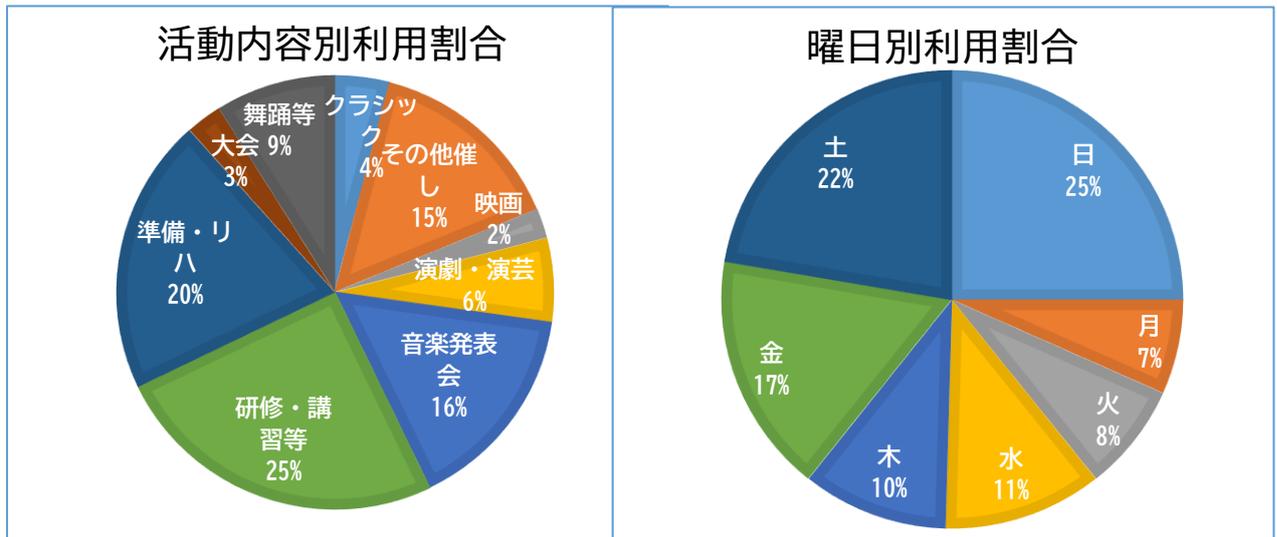




※利用回数はリハーサルでの利用は除外

利用人数	利用回数
0-49	7
50-99	6
100-199	18
200-299	15
300-399	14
400-499	8
500-	10
総計	78

【参考】全利用（市、学校主催、市外団体を含む）の利用状況



※利用回数はリハーサルでの利用は除外

利用人数	利用回数
0-49	9
50-99	8
100-199	65
200-299	36
300-399	24
400-499	14
500-	22
総計	178

(2) 市内公共施設及び民間ホール

ア 公共施設

利用実績が多い人数の区分を踏まえ、100名以上の収容人数を持つ公共施設を見ると、28箇所となっている。(※休館予定、改修中の施設は除く。)

No	施設名	名称	使用料	収容人数	面積(m ²)	利用条件
1	なでしこ公民館	集会室	無料	120	120	地区内在住会員要件等を満たした登録団体
2	花水公民館	集会室	無料	200	211	
3	須賀公民館	ホール	無料	120	145	
4	富士見公民館	集会室	無料	120	142	
5	南原公民館	ホール	無料	100	88	
6	中原公民館	大ホール	無料	200	158	
7	松が丘公民館	集会室	無料	100	148	
8	四之宮公民館	集会室	無料	100	108	
9	大野公民館	ホール	無料	120	155	
10	神田公民館	集会室	無料	150	148	
11	大神公民館	大ホール	無料	250	288	
12	横内公民館	ホール	無料	100	105	
13	城島公民館	集会室	無料	200	160	
14	岡崎公民館	集会室	無料	120	134	
15	金目公民館	集会室	無料	150	188	
16	吉沢公民館	ホール	無料	100	137	
17	旭南公民館	大ホール	無料	150	187	
18	旭北公民館	集会室	無料	150	251	
19	ひらしん平塚文化芸術ホール	大ホール	有料	1,200	1,726	公共施設情報システムの登録団体
20		多目的ホール	有料	200	251	
21	栗原ホーム	大会議室	無料	100	198	市内居住の高齢者、障がい者 など 市内の福祉団体及び福祉関係者
22	福社会館	大広間研修室	無料	100	-	市内在住の60歳以上の個人・団体 障がい者手帳をお持ちの個人
23	西部福社会館	多目的ホール	無料	300	251	市内在住で60歳以上の方、障がい者、 未就学児の親子、福祉団体など
24	平塚総合体育館	A会議室全面	有料	110	187	公共施設予約システムの登録団体
25	美術館	ミュージアムホール	有料	150	187	芸術文化施設にふさわしい内容の講演会、演奏会、映写会、会議等
26	保健センター	講堂	有料	120	206	市内保健衛生協力団体 保健衛生に関する市民活動団体の保健衛生に関する会議等
27	四之宮ふれあいセンター	大会議室	無料	100 (椅子)	148	平塚市に居住する市民団体 平塚市に所在する事業所
28	文化公園会館	大会議室	有料	100	254	勤労者関係団体、青少年関係団体、教育関係団体等(予定)

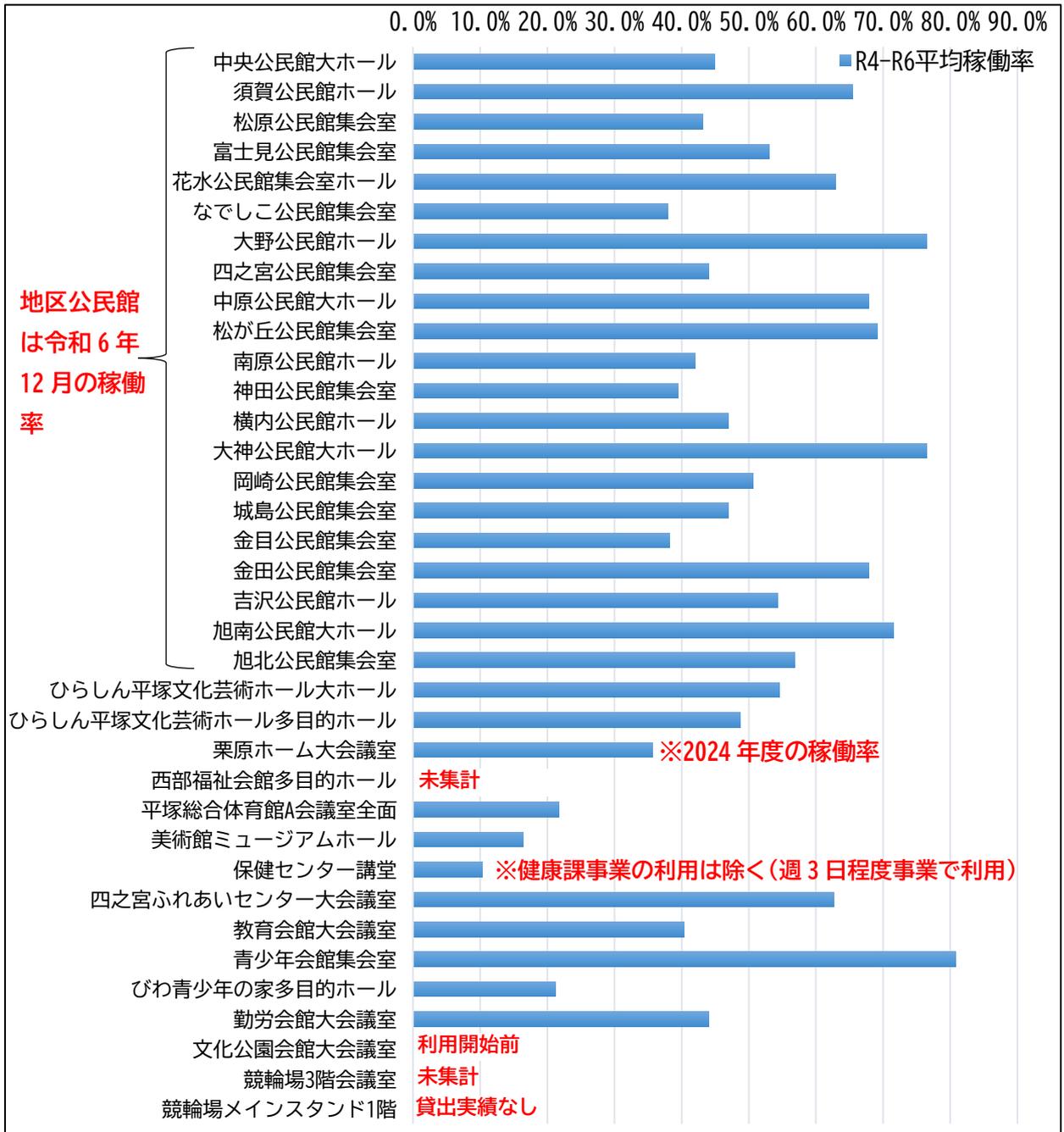
出典：資産経営課作成資料を再編加工

各公共ホールの稼働率（R4-R6 平均）は、次のとおりとなっている。（※100 名以上収容可能なホール・会議室等の利用実績を庁内各課に照会）

各ホールにより目的や対象者は異なるが、稼働状況に応じて利用の促進を検討する余地があることが見られる。

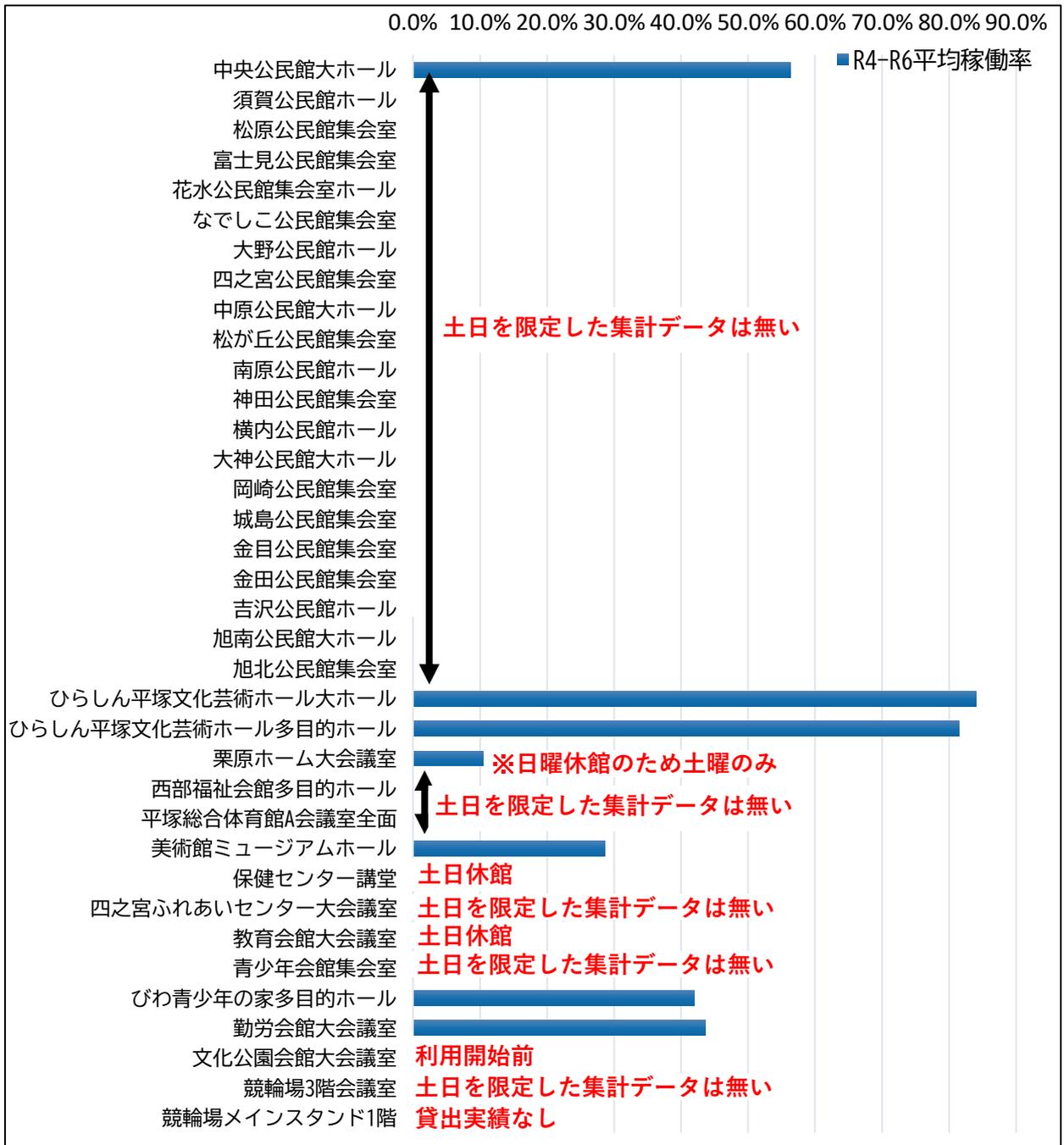
また、施設によっては日常的に利用状況を把握していない状況も見られることから、予約システム導入など、現状把握及び改善に努める必要がある。

全利用における R4-R6 平均稼働率



※稼働率は、原則、施設ごとに設定しているコマ数に応じた利用実績にて算出。

土日の R4-R6 平均稼働率



※地区公民館は、土日は一般団体の利用は少ないため、平日と比べると土日の稼働率は低い状況が見込まれる。

※ひらしん平塚文化芸術ホールは、土日はほぼ夜間の枠しか空いていない状況にある。

イ 民間ホール

100名以上収容可能な民間ホールは市内に8箇所となっている。

各施設により利用目的・可能用途は異なるが、会議やレセプションを主な対象としている施設が多い状況にある。

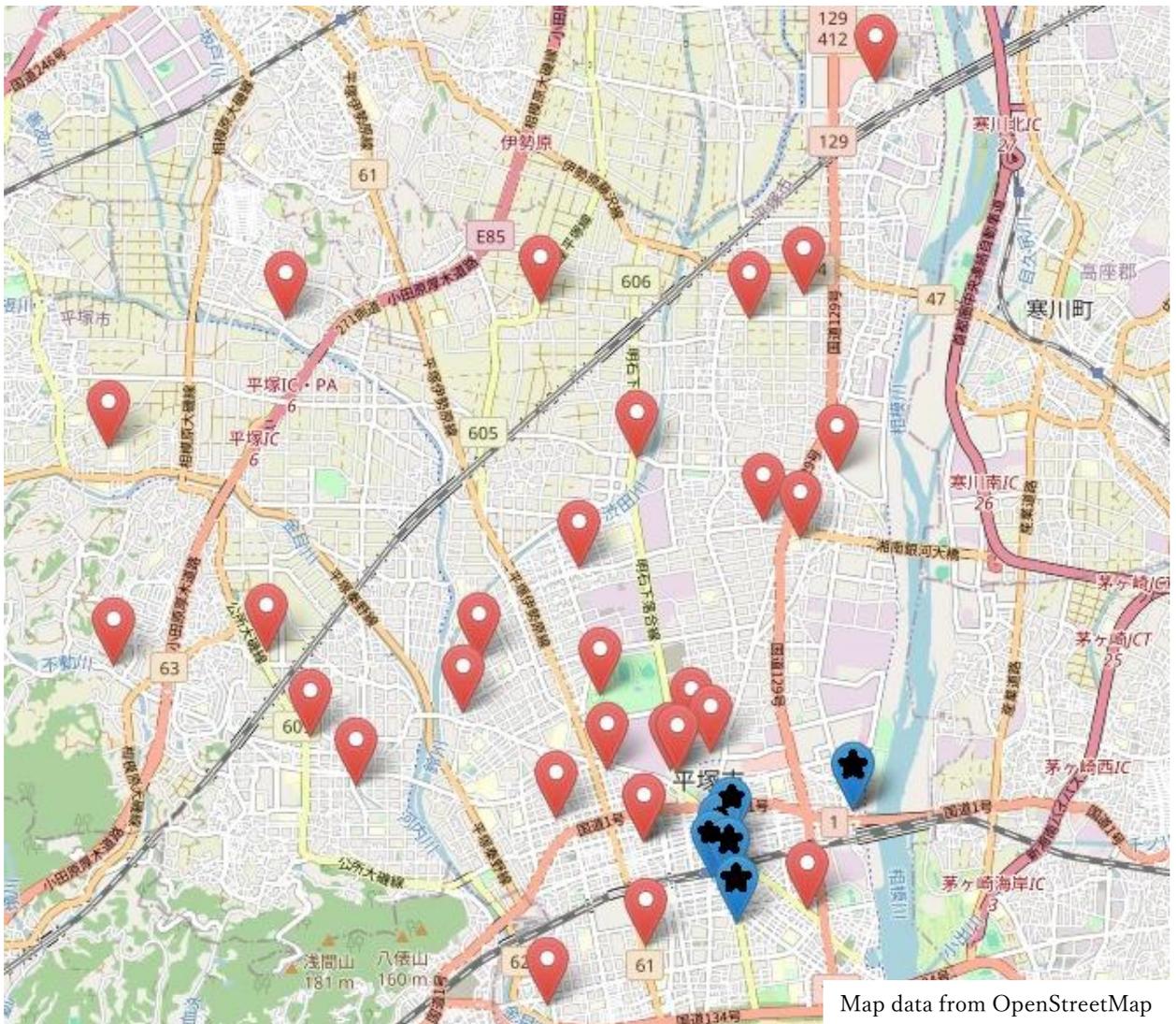
No	名称	収容人数	面積(m ²)	料金(税込)
1	ラスカホール(ビーナス)	約300人(座席あり) 約400人(座席なし)	340	平日 91,300円/日 休日 117,700円/日
2	平塚商工会議所	約350人	323.4	平日 55,000円/日 休日 77,000円/日
3	プレジール(大広間)	スクール170人 (3人掛け255人) 椅子のみ440人	353.7	平日 200,200円/日 休日 259,600円/日
4	プレジール(若松)	スクール96人 (3人掛け144人) 椅子のみ270人	216.9	平日 138,600円/日 休日 172,700円/日
5	レンタルホール湘南平塚	スクール138人 椅子のみ180人	297	平日 105,600円/日 休日 116,600円/日
6	グランドホテル神奈中	スクール112人 (2人掛け)	262	33,000円/1時間
7	サンライフガーデン(江陽)	スクール285人 シアター603人	411	72,600円/1時間 145,700円/2時間 580,800円/8時間
8	サンライフガーデン(芙蓉)	スクール108人 シアター315人	188	60,500円/1時間 121,000円/2時間 484,000円/8時間

参 考	中央公民館大ホール	701人	479.08	平日 41,000円/日 休日 49,500円/日 ※入場料徴収により変動
	ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール	1,200人	1726.78	平日 135,000円/日 休日 171,000円/日 ※入場料徴収により変動
	ひらしん平塚文化芸術ホール 多目的ホール	200人	251.10	平日 32,500円/日 休日 41,600円/日 ※入場料徴収により変動

ウ 公共施設及び民間ホールの配置状況

公共施設及び民間ホールの市内への配置状況を見ると、100名以上収容可能なホールは、市内全域に配置されている。

ただし、民間ホールについては駅周辺に集中している状況にある。



※文化公園は文化公園会館のみマッピング。

★印：民間ホール

(3) 他市比較

他市でのホール設置状況を見ると、県内では、政令市及び横須賀市、大和市を除くと、1市1文化施設（劇場）を有する市町が多い状況にある。

また、人口密度が同規模な全国自治体においては、市町村合併などを除くと1市1文化施設を有する市町村が多い状況となっている。なお、劇場型の中規模ホール（700名規模）のみを近年新築した事例は県内では見られない。

ア 大阪府茨木市

本市と人口密度が同規模の特徴的な事例として、大阪府茨木市の施設「おにクル」では、子育て施設と文化ホールの複合施設となっており、多目的ホール（定員 245 人、平土間ホール）では、コンサート、講演会、式典などの開催に加え、壁面を開閉可能な大開口とすることで、エントランス広場と一体的なイベント（マルシェなど）もできる空間としている。

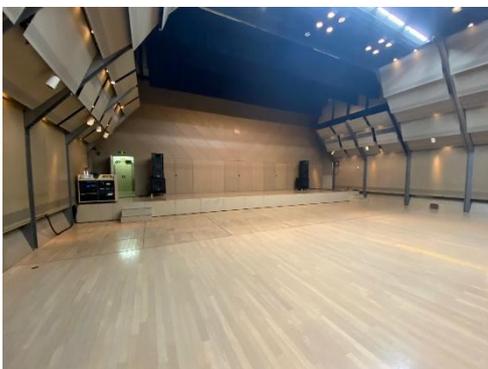


出典：茨木市「おにクル」の施設概要について

イ 東京都八王子市

八王子市は、駅周辺に商業との複合施設、文化施設、生涯学習センター、コンベンションホールなど、多様な目的・機能を持つ施設が集積している。

八王子市の市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習センター」及び市民と大学との交流の場である「学園都市センター」のホールでは、可動式の舞台・椅子が設けられており、音楽・文化活動や映画観賞会などのほか、平場での利用として社交ダンスなど多様な用途で利用されている。（可動式椅子：生涯学習センター170席、学園都市センター216席）



(平場利用時)



(椅子利用時)

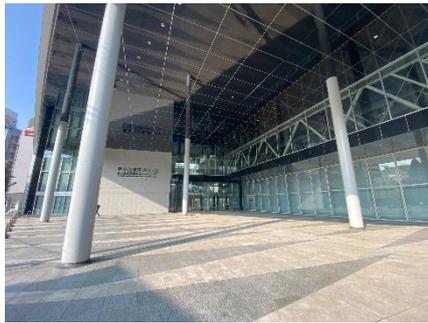
八王子市生涯学習センター ホール

また、伝統芸能の振興及びにぎわい創出を目的とした桑都^{そうと}テラス（(一社)八王子市まちづくり公社所有）は、主に伝統芸能を披露するための大広間を備えており、店舗及び広場と一体的に利用するイベントなども実施されている。



桑都テラス にぎわい広場、大広間

多摩エリア最大級の展示室（最大 2,000 名収容）を設けている、産学連携によるイノベーション創出を目的とした東京たま未来メッセ（所有：東京都）は、平土間となっているが、最大 4 室に分割可能な展示室を設けており、展示会や講演などのほか、大学説明会などでも利用されている。



東京たま未来メッセ 展示室

4 ホールに求められる機能及び規模について（まとめ）

庁内検討委員会では、市内の公共施設の現状や今後の社会変化を見据え、次のとおり適切な機能及び規模を整理した。

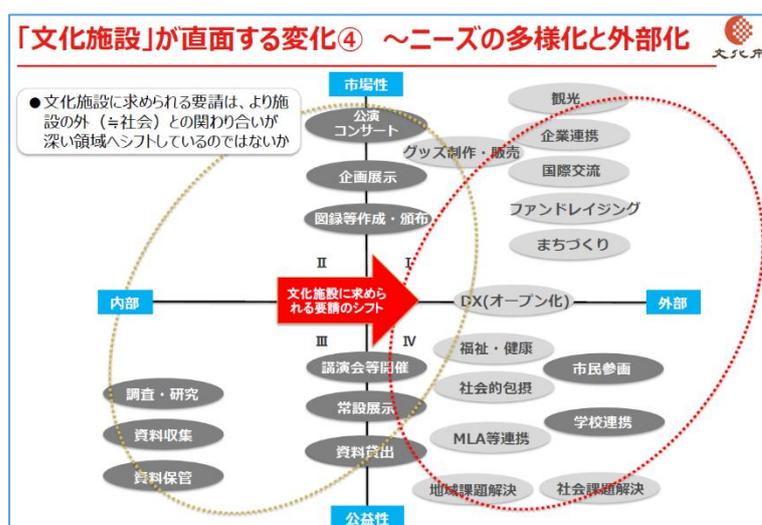
庁内検討委員会の検討結果

社会情勢の変化や現状の市内公共・民間ホールの設置・利用状況などを鑑みると、多様な課題解決につながる取組・用途として活用できる、複合的な施設かつ多機能な 400 人程度のホール機能が必要と考える。

（1）機能

今後の人口減少社会を見据えた中では、様々な分野と連携することによる多様な価値を創出することが重要であり、いわゆる劇場のみではなく、多様な課題解決につながる取組・用途として活用できる複合的な施設かつ多機能なホール機能が望ましい。

※例：可動式の観客席・舞台、子育て・健康増進・マルシェなどの用途



【参考】出典：文化庁 令和7年1月9日 文化審議会 文化施設部会資料

（2）規模

過去のホール利用状況や公共施設、民間ホールを含めた設置状況などから、400人程度のホール機能が望ましい。

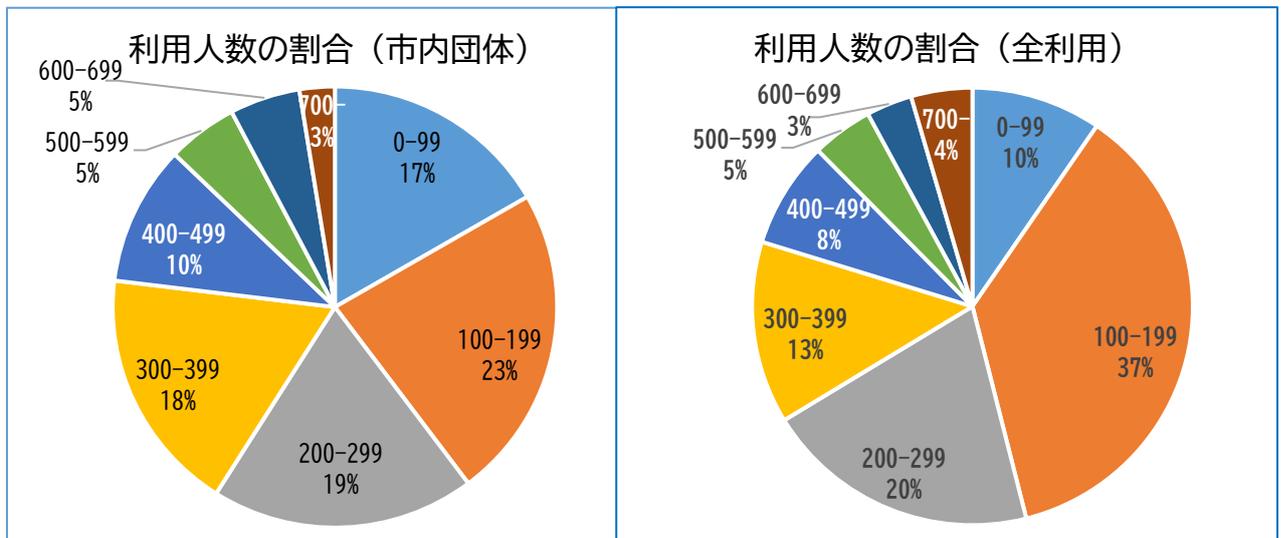
※現状、200～300人規模の利用可能な公共／民間施設は市内に存在している。

※令和6年度の中央公民館大ホール利用者のうち、利用人数が400人以上の市内団体の利用は20%程度となっている。ただし、延べ人数であるため、実際に必要な収容人数は少なくなることが見込まれる。

利用人数別の各施設の対応表

利用人数	0～100名	100～200名	200～300名	300～400名	400名～
地区公民館	○	○	△	×	×
他公共施設	○	△	△	×	×
民間貸会議室	○	×	×	×	×
民間ホール	×	○	○	△	×
ひらしんホール	×	△	○	○	○

令和6年度中央公民館大ホール利用人数の割合（※リハーサルの利用は除外、延べ人数）



（3）今後の進め方

中央公民館の休館に伴い、地区公民館や他の公共施設、民間ホール等の施設を利活用しながら、休館による影響やニーズの把握などに努める必要がある。

なお、ニーズの把握については、多機能なホール機能の必要性を把握するためにも、利用団体のみならず、様々な団体、企業なども含めて幅広く利用者の状況を把握する必要があると考える。

令和7年度	令和8年度	令和9年度
	★R8.10 休館	

以上